

SANSHIN GROUP

Monthly Report on the ESG

Aug.2026

INDEX

1. サンシンググループ 経営理念
2. サンシンググループ 経営ビジョン
3. 「徳のある商人」を育成するために
4. TOP MESSAGE
5. グループ社員による今月のつぶやき
6. ESG Report（品質）
7. ESG Report（環境）
8. ESG Report（地域貢献活動）

我々はお客様を愛し愛される 徳のある商人を目指し 世界の文化文明の発展に貢献する

● 経営ビジョン

お客様満足度の向上 / 利益ある成長・発展

● 代表挨拶

弊社は、さまざまなメーカーの電子部品を取り扱い、商社機能とメーカー機能を兼ね備える技術商社です。お客様のニーズに応じた最適な技術シーズを提供し、多様な提案を通じて、事業成功のお手伝いをさせていただきます。

「徳のある商人」であることを企業理念に掲げ、創業から60周年を迎えます。これからも変わらぬ価値を提供し続け、絶えず成長と発展を探求してまいります。引き続き、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 石井 宏宗

～「徳のある商人」を育成するために～



自身の経営貢献

- 経営理念から個人目標まで体系的に展開し、自身の企業貢献を明確化
- 自発的にチャレンジしやすい環境

経営参画

- 若手メンバーで中期経営計画作成プロジェクトを行い、新規事業や社会貢献をアイデア&ドリーム
- 経営事業報告会や月次/週次ミーティングで経営状況や方針の情報共有

キャリア

- 年齢・性別関係なく役職に抜擢され、キャリアを構築できる仕組み
- EIGYO育成プログラムによる一人一人の細やかな成長支援

知識・資格・学び

- 社内大学「サンシン大学」：経営・法務・営業・技術・品質管理・WEBマーケ・生成AI・語学・健康などの講座をリアル/オンラインで開講（就業時間内、会社負担）
- 資格取得支援（簿記・TOEIC・ビジ法・QC検定・MBA/MOTなど）
- 工場見学、企業見学、研修会、YAMINABE会



働く環境

- 社員の働く環境の整備
 - ① 育児休業中の給与補助
 - ② 育児短時間勤務中も給与維持
 - ③ こども手当
 - ④ 介護にあたる社員への柔軟なサポート
 - ⑤ 在宅勤務・テレワーク対応
 - ⑥ 扶養家族のいる社員への人事評価加点
 - ⑦ 勤務間インターバル制度
 - ⑧ 時間単位の有給休暇取得制度
 - ⑨ メンタルヘルスの一環としてオンライン相談フォーム設置（匿名可）
 - ⑩ パワーランチ制度による昼食負担軽減
 - ⑪ オフィスグリコによるリフレッシュ効果
- 「健康優良企業」「健康経営優良法人」等、外部認証の取得
- 副業兼業可能

ネットワーク

- 新入社員へのメンターによるサポート
- 入社後研修で東京・関西などの社員とのフラットな業務交流
- 社内交流会、懇親会、コンパの開催

TOP MESSAGE

夏の味覚の向こうに見える、海の変化

夏の味覚として親しまれるハモ。

京都の祇園祭や大阪の天神祭にも欠かせない、関西を代表する魚のひとつです。

実はこのハモ、大阪湾でも漁獲される「大阪産（もん）」の魚です。

かつて高度経済成長期に水質汚濁が進んだ大阪湾も、さまざまな対策によって水質は大きく改善してきました。

一方で、海には新たな変化も起きています。

大阪湾の海水温は長期的に上昇傾向にあり、イカナゴやマコガレイなど冷たい海を好む魚が減る一方、暖かい海を好むハモは漁獲量が増えています。

生命力の強いハモは、冷蔵技術の乏しかった時代にも生きたまま運ぶことができ、京都の食文化にも深く根づきました。

夏の一品に並ぶハモ。

その向こうには、大阪湾の豊かな恵みだけでなく、少しずつ姿を変える海の“今”も見えてきます。

私たちの食卓は、海の変化を映す小さな鏡なのかもしれません。

サンシン電気株式会社
執行役員 清原 幸雄

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHIN East

「牛にVRゴーグルをつけてみた」トルコのとある酪農家がVRゴーグルをつけて大自然を見せたところ採れる牛乳の量が1頭あたり5リットル増えたと報じられています。乳牛は春・夏・秋は外で飼育しているものの冬は牛舎の中に閉じ込められた状態になるため採れる牛乳の量が減るという事で、冬の生産量を増やすために試してみたそうです。この結果について科学的に実証されているわけではありませんが、牛のストレス解消に一役買っていたのかも知れません。（Y.Y.）

SANSHIN West

日本では8月にお盆があります。通常8/13～8/16までの4日間がお盆期間です。京都では8/16に五山の送り火が行事として行われます。お盆期間中にお迎えしたご先祖の霊を送る行事となっています。近年では多くの人とその炎を見ることが多いです。伝統行事を続けていくことは大切だと感じます。（Y.A.）

SANSHIN Hong Kong

最近、香港や中国のホテルで無料アメニティ（歯ブラシ、クシ、カミソリなどの使い捨てプラスチック製品等）の提供が廃止されているホテルを見受けます。宿泊客が希望する場合は、有料で提供するか、再利用可能な代替品を用意する必要があるようです。一部のホテルでは竹製や紙製の歯ブラシ、詰め替え式のシャンプー容器等を導入しています。（A.A.）

SHINKOWA

千葉県八街市にある工場は、大雨の影響はありませんでしたが、近隣の市では河川の氾濫などで生活に影響が出ています。夏場の生活では、水・電気の使用ができない状況は非常に厳しいことは私も体験しています。また、冠水した道路に移動できなくなった放置自動車が2,000台以上あるとニュースで聞きました、早く復興されることをお祈り致します。（M.N.）

SC2

【平和の翼】最先端技術は人の暮らしを楽しく、豊かにします。例えばドローンの登場は映像の幅を広げました。他にも人やペットの捜索に使われたり、広い畑に種を蒔いたり。しかし同じ技術が紛争・戦争に使われれば多くの命と暮らしを脅かします。知識と技術をどう使うのか。争いの火種に負けない知性が問われる時代を、私たちは生きています。（M.I.）

ESG Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

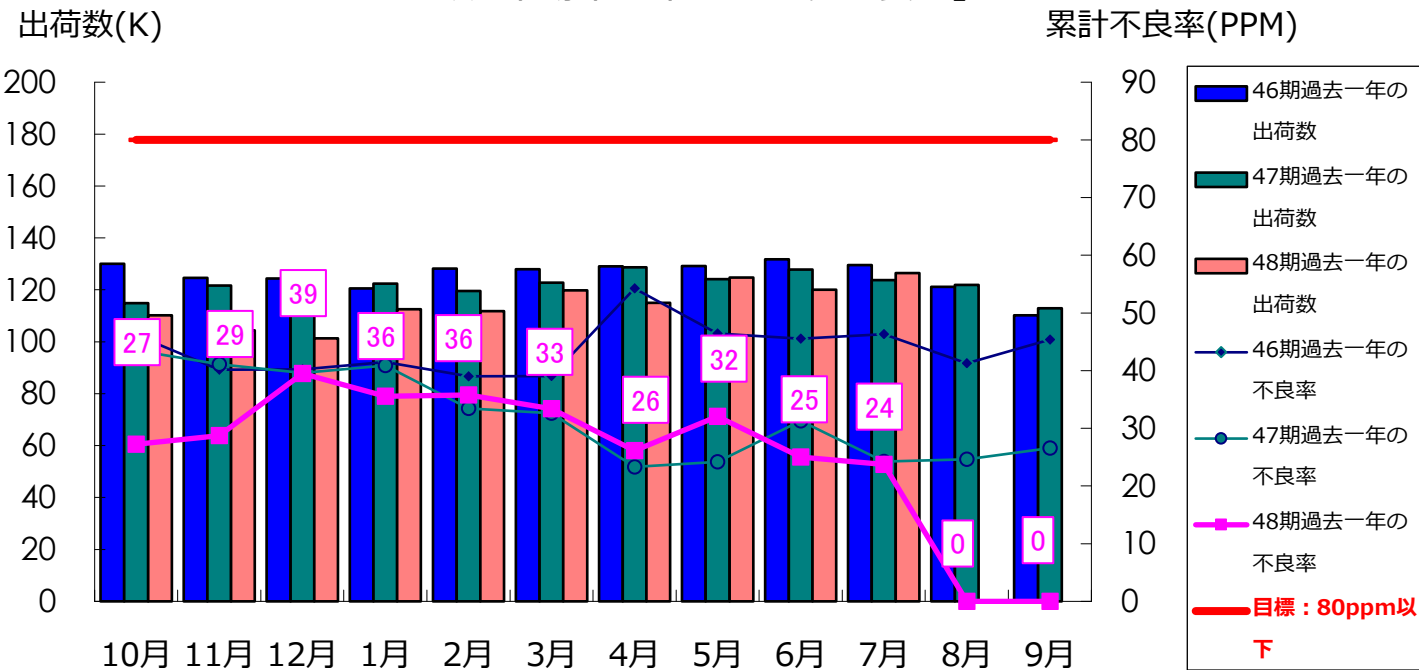
1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質状況

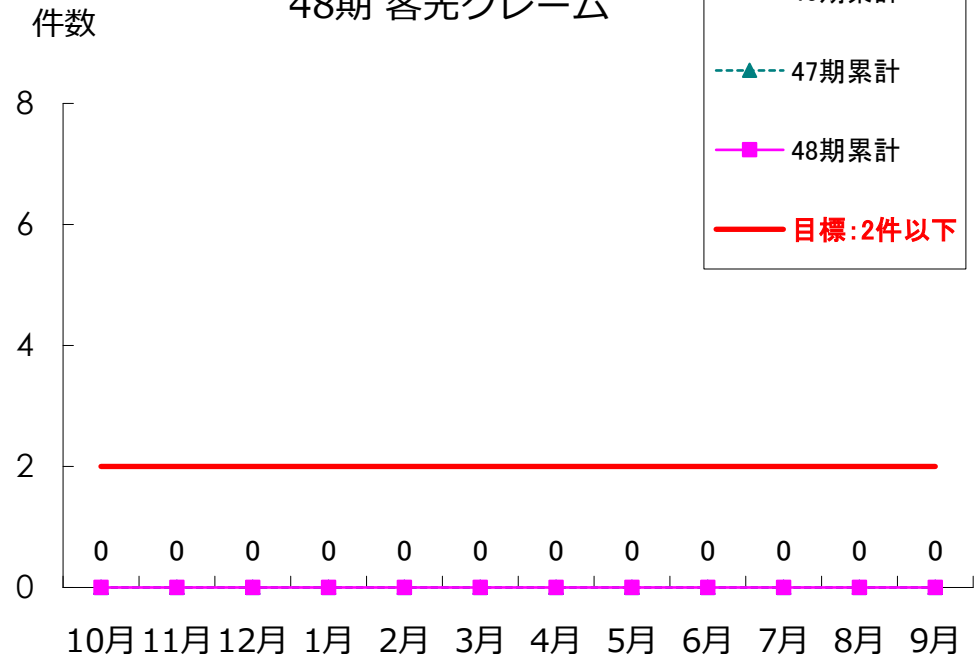
納入品不良率（目標：80ppm）
48期の累計不良率(解析依頼含む)：24ppm

客先クレーム（目標：2件以下）：0件

48期 市場不良率「ユニット製品」



48期 客先クレーム

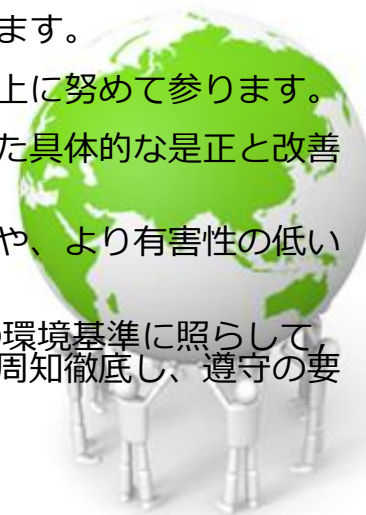


ESG Report (環境)

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。
7. 環境放出化学物質の管理環境中に放出されると害を及ぼすと特定された化学物質については、使用量の削減や、より有害性の低い物質への代替、漏洩の防止などにつとめてまいります。
8. 製品に含まれる有害物質を特定し、「RoHS」等の法規制および「JAMPガイドライン」などの業界と顧客の環境基準に照らして、非含有およびそのための管理体制を遵守します。また、サプライチェーン上流の取引先にもこれらの基準を周知徹底し、遵守の要請を行ってまいります。



TOPICS

■ 新たな防災気象情報について(令和8年～)

気象庁が発表する注意報・警報には、住民が取るべき避難行動をわかりやすく示すために「警戒レベル1～5」という5段階の指標が定められています。2026年5月28日から、この警戒レベルと防災気象情報の対応関係が全面的に整理され、大雨・河川氾濫・土砂災害・高潮に関する情報名には、レベルの数字がそのまま付記されるようになりました。「レベル3大雨警報」「レベル5大雨特別警報」のように、名称を見ただけで、今どの段階の危険度なのかが直感的にわかる仕組みに変わっています。

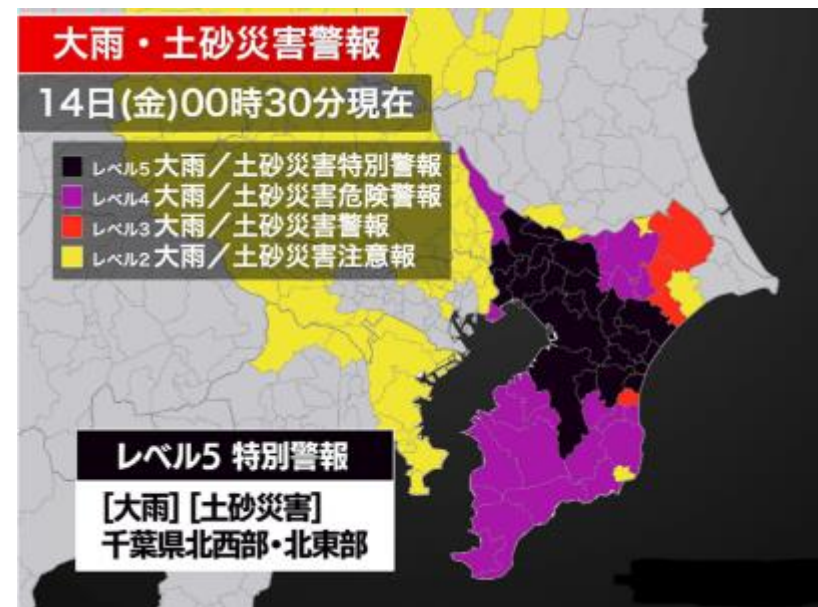
なお、先日の千葉豪雨では全国で初めて「レベル5大雨特別警報」が発表されましたので、既にご覧になった方も多いかと思います。

☑ 背景と狙い

令和6年6月に取りまとめられた「防災気象情報に関する検討会」の提言を踏まえ、令和8年5月29日から新たな防災気象情報の運用を開始しました。河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮に関する情報等は、これまで警戒レベルとの対応が複雑でわかりにくくなっていましたが、今回の改善により、避難情報の5段階の警戒レベルに対応し、避難の判断をしやすくなっています。

☑ 警戒レベルとは何か

警戒レベルとは、災害発生の危険度が高まったときに、住民がどのタイミングで、どのような避難行動を取るべきかを、5段階の数字でわかりやすく示す仕組みです。数字が大きくなるほど、危険度が高く、緊急性の高い状況であることを表します。



TOPICS

☑【最新版】警戒レベルと防災気象情報の対応表

	河川氾濫	大 雨	土砂災害	高 潮
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			

情報と対応する防災行動を明確にするため、情報名称そのものにレベルの数字を付記して発表されます。

これまでは大雨、河川氾濫、土砂災害、高潮といった災害ごとに異なっていた情報の運用を一本化し、警戒レベル1から5までに対応する情報が設定されます。

例えば「大雨警報」は「レベル3大雨警報」、「土砂災害警戒情報」は「レベル4土砂災害危険警報」と名称を変更し、避難指示や避難判断との対応関係が分かりやすくなりました。

また、洪水予報河川で氾濫が差し迫った場合に発表される「レベル5氾濫特別警報」が新設されるほか、「気象防災速報」「気象解説情報」といった新しいカテゴリの情報も導入されています。

TOPICS

☑ 今回の改定で、何が変わったのか

今回の変更は、気象業務法および水防法の一部改正にともなうもので、2024年6月に取りまとめられた「防災気象情報に関する検討会」の提言を踏まえ、約2年半をかけて準備が進められてきました。

●変更の理由①：情報名だけでは危険度が伝わりにくかった

これまでは、同じ「特別警報」という言葉でも、大雨特別警報はレベル5相当である一方、高潮特別警報はレベル4相当というように、対象となる災害によってレベルの対応関係が異なっていました。名称だけでは、実際の危険の度合いが十分に伝わらないという課題があったのです。

●変更の理由②：レベル4に対応する情報が存在しない災害があった

「警報（レベル3相当）」と「特別警報（レベル5相当）」の間、つまり「今すぐ全員が避難すべき」レベル4に相当する気象情報が、災害の種類によっては存在していませんでした。これにより、住民や自治体にとって、避難指示を発令すべきタイミングが曖昧になりやすいという問題があったとされています。

TOPICS

☑ 最大のポイント：「危険警報」の新設

今回の改定で最も重要な変更が、警戒レベル4に相当する新しい情報「危険警報」の新設です。「レベル4大雨危険警報」「レベル4土砂災害危険警報」「レベル4高潮危険警報」という形で発表され、これが出されたら、危険な場所にいる人は全員、避難を完了させるべき段階にあたります。この情報は、市町村が避難指示を発令する際の判断基準としても機能します。

☑ 情報名に「レベルの数字」が明記されるようになった

今回の改定のもう一つの大きな特徴が、警報・注意報の名称そのものに、警戒レベルの数字が付記されるようになったことです。

これまでの名称	2026年5月以降の名称
大雨注意報	レベル2大雨注意報
大雨警報	レベル3大雨警報
(該当情報なし)	レベル4大雨危険警報（新設）
大雨特別警報	レベル5大雨特別警報
高潮注意報	レベル2高潮注意報

ニュースや防災アプリの通知でこの名称を見た瞬間に、「今、自分取るべき行動の段階」が直感的にわかるようになる、というのが今回の改定の狙いです。

TOPICS

☑ 河川氾濫の情報も大きく変わった

これまで河川氾濫において最も危険度の高い警戒レベル5に相当する情報は「氾濫発生情報」という名称でした。

今回の改定で「特別警報」という枠組みが新設され、「レベル5氾濫特別警報」という名称に変更されています。なお、この「河川氾濫」に関する情報の発表対象となるのは、全国に約400ある「洪水予報河川」のみです。それ以外の河川については、市町村ごとに発表される大雨に関する情報（大雨警報・大雨注意報など）として扱われる形になり、これまであった「洪水注意報」「洪水警報」という名称は、この変更とともに廃止されています。

☑ 土砂災害・大雨に関する情報の整理

これまで土砂災害に関する情報は、「大雨警報（土砂災害）」のように大雨警報の枠組みの中で発表される形式と、「土砂災害警戒情報」という別の形式が併存していました。今回の改定により、土砂災害単体で注意報・警報が発表される形に整理されています。土砂災害の警戒レベル4相当の情報は、これまでの「土砂災害警戒情報」から「レベル4土砂災害危険警報」という名称に変わりました。

☑ 今回の改定で変わらなかった情報

今回整理されたのは、警戒レベルに対応する大雨・河川氾濫・土砂災害・高潮に関する情報です。それ以外の、暴風・波浪・大雪・暴風雪の特別警報・警報や、強風・波浪・大雪・風雪・濃霧・雷・乾燥・なだれ・着氷・着雪・霜・低温・融雪といった注意報については、これまでと変わらない運用が続けられています。

TOPICS

☑ 最も大切な原則は変わらない

情報の名称や体系は大きく整理されましたが、防災上の基本的な原則は変わっていません。「警戒レベル4までに、危険な場所にいる人は全員避難を完了させる」「レベル5は、すでに危険が迫っている、または発生している段階」という考え方は、改定の前後で一貫しています。レベル5になってからの避難は、状況によってはすでに危険な場合もあるため、レベル4の段階で速やかに行動することが、命を守るうえで最も重要とされています。

今回の改定は、情報を見た瞬間に「今、何をすべきか」が直感的にわかるようにするための見直しです。新しい名称に慣れないうちは戸惑うかもしれませんが、「レベルの数字が上がるほど危険」というシンプルな原則さえ覚えておけば、迷わず行動につながられます。この機会に、お住まいの地域のハザードマップとあわせて、避難のタイミングを確認しておくことをおすすめします。

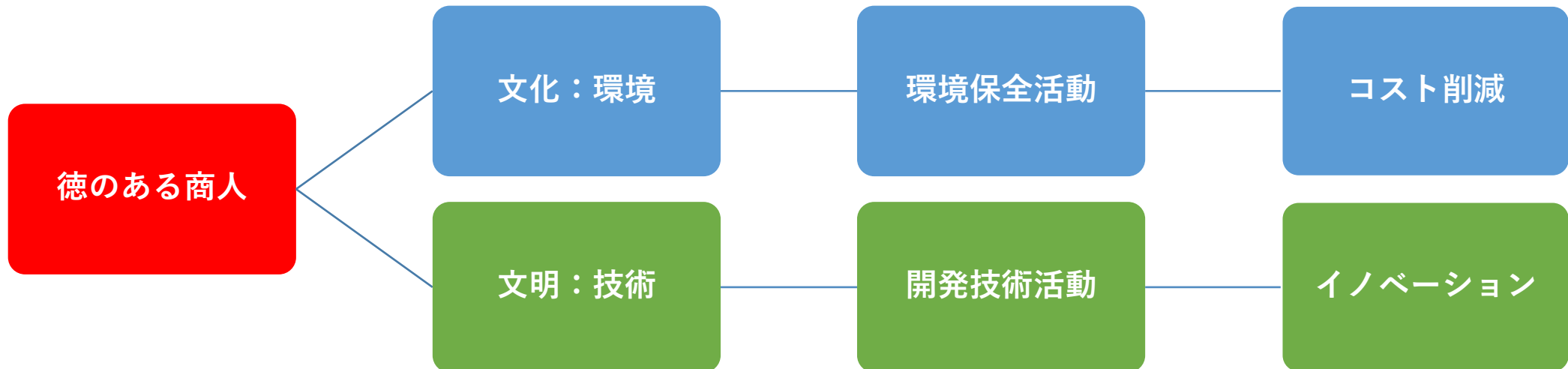
サンシングループ環境経営への歩み

1. 環境経営の基本マインド

＊サンシングループ経営理念

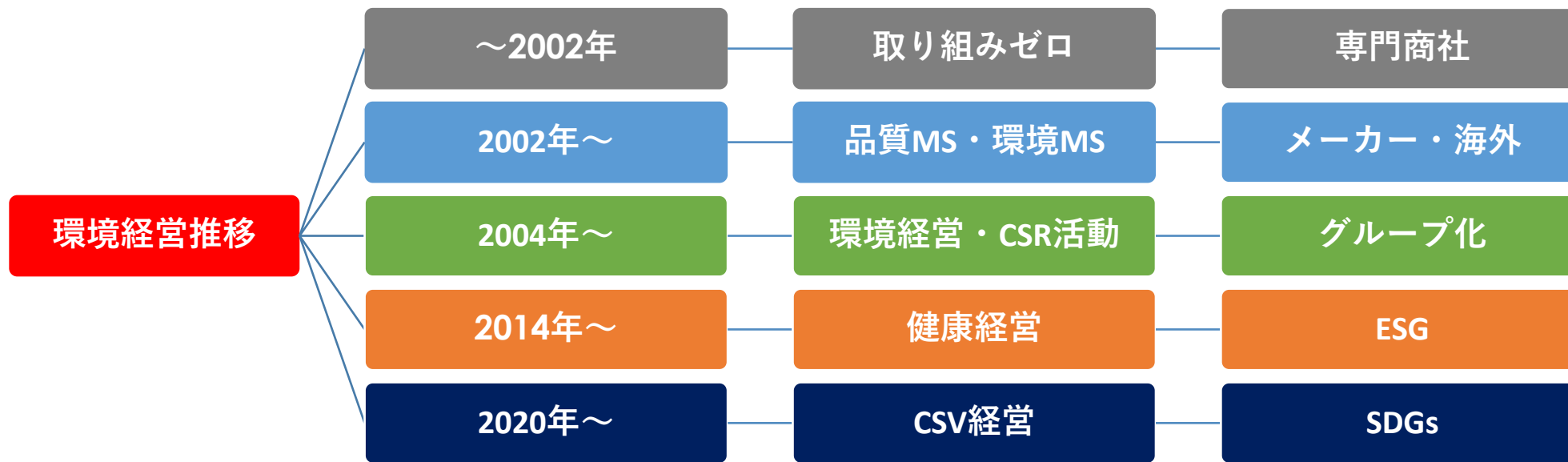
私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の文化・文明発展のために



2. 環境への取り組み

2002年から現在までの経緯



2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識.

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで環境MSを整備.

2004年～

グループ企業体の発足に伴い経営理念を創設. CSRを能動的に展開.

2014年～

健康経営を標ぼう，以後，東京都認定.

2020年～

CSV経営を宣言，ESGとSDGsを重視.

3. コスト削減実績

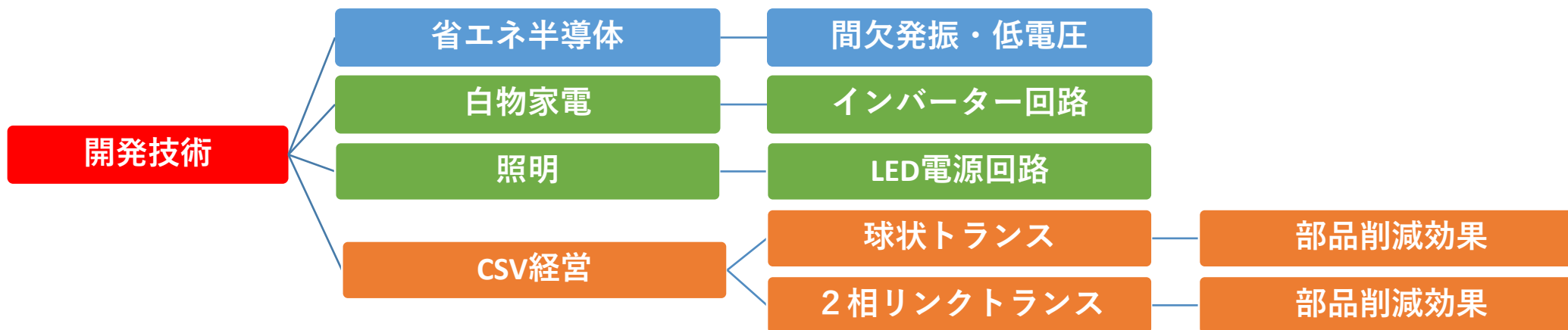
- **紙/ゴミ/電気**，三種の神器，徹底削減の継続
- **テレワーク**による電気/交通費削減
- 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
- 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
- コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント

⇒グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！

※2004年度対比

4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

LED照明用の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

環境とイノベーションを結び付けた技術開発

CSV経営 モノ×コト＝価値創造

5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
 - 4：輸送配送
 - 5：廃棄物
 - 6：出張交通費（旅費除く）
 - 7：従業員交通費

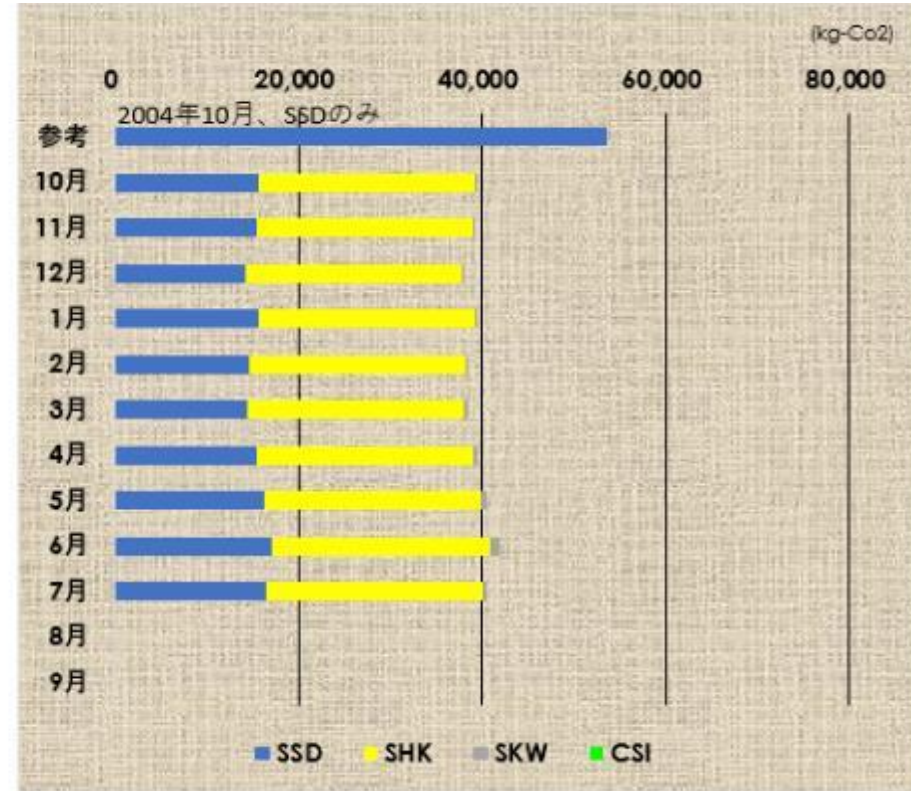
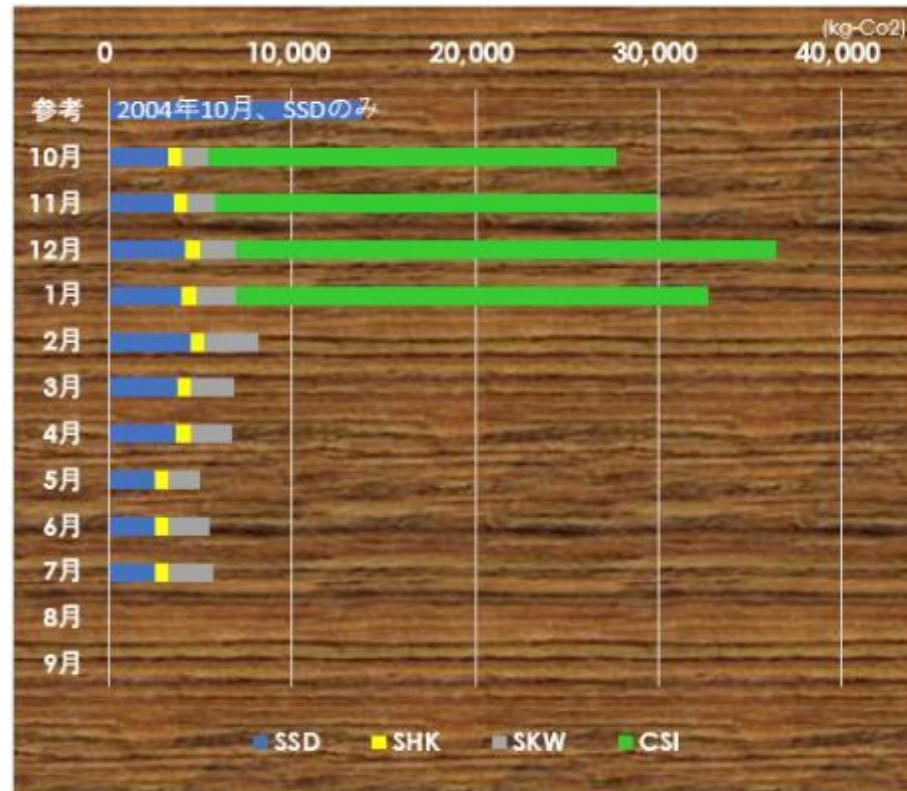
6. まとめ

- ・ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- ・事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- ・環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- ・サンシンググループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組めます！

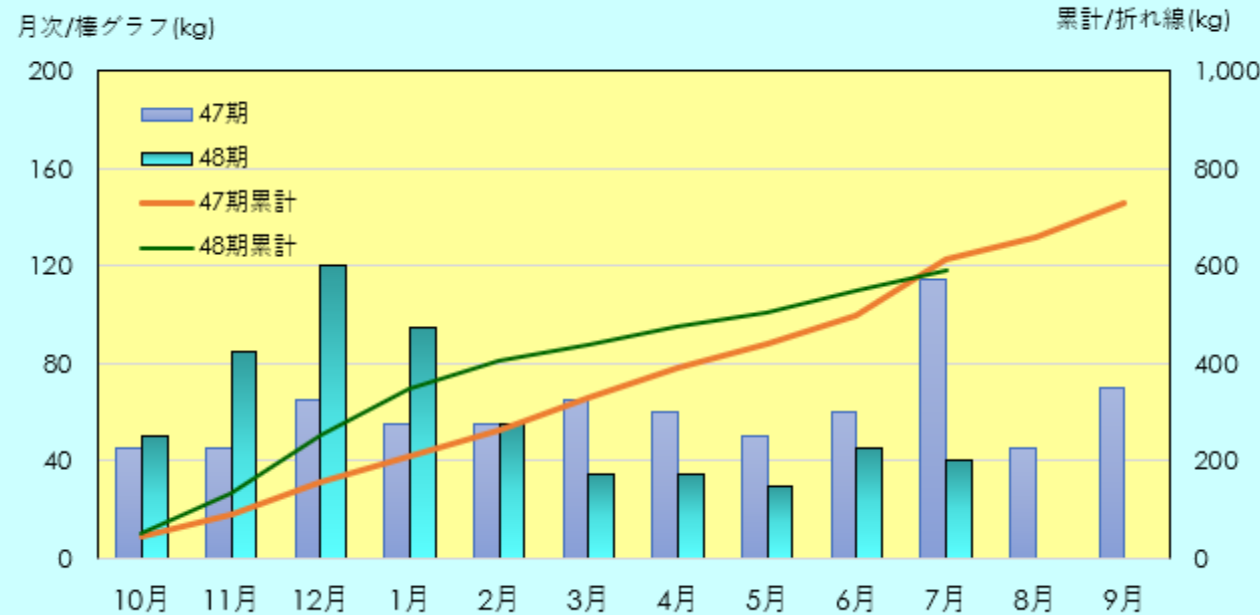
SSGサプライチェーン排出量

サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取り組んでいます

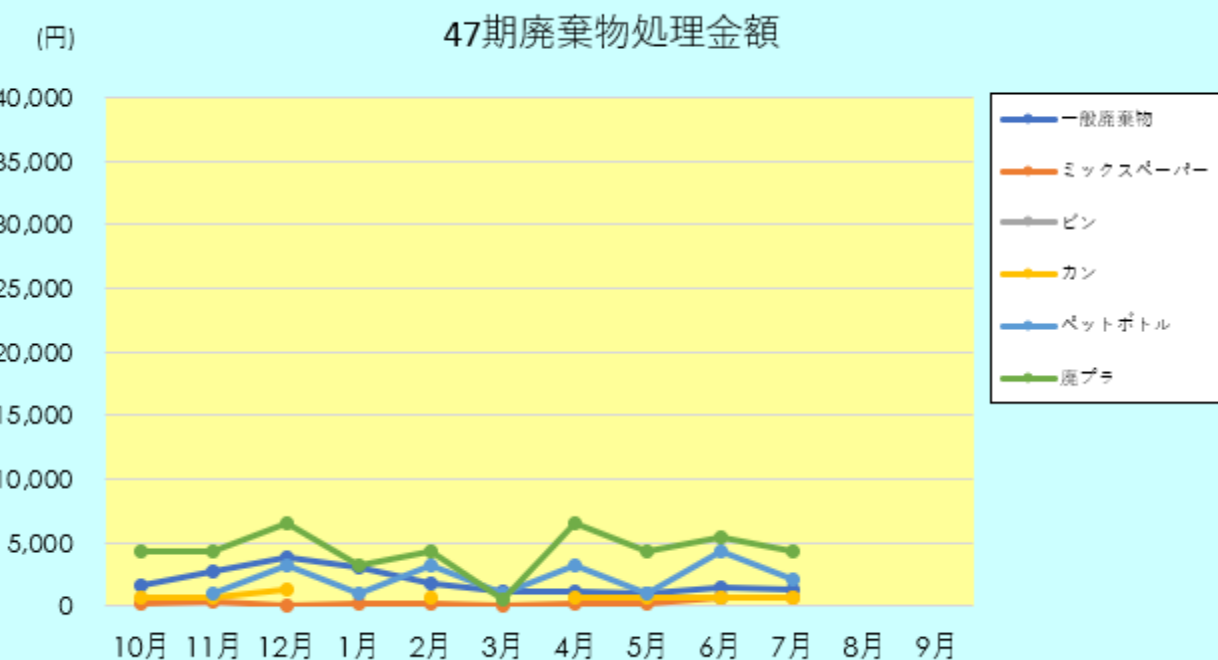
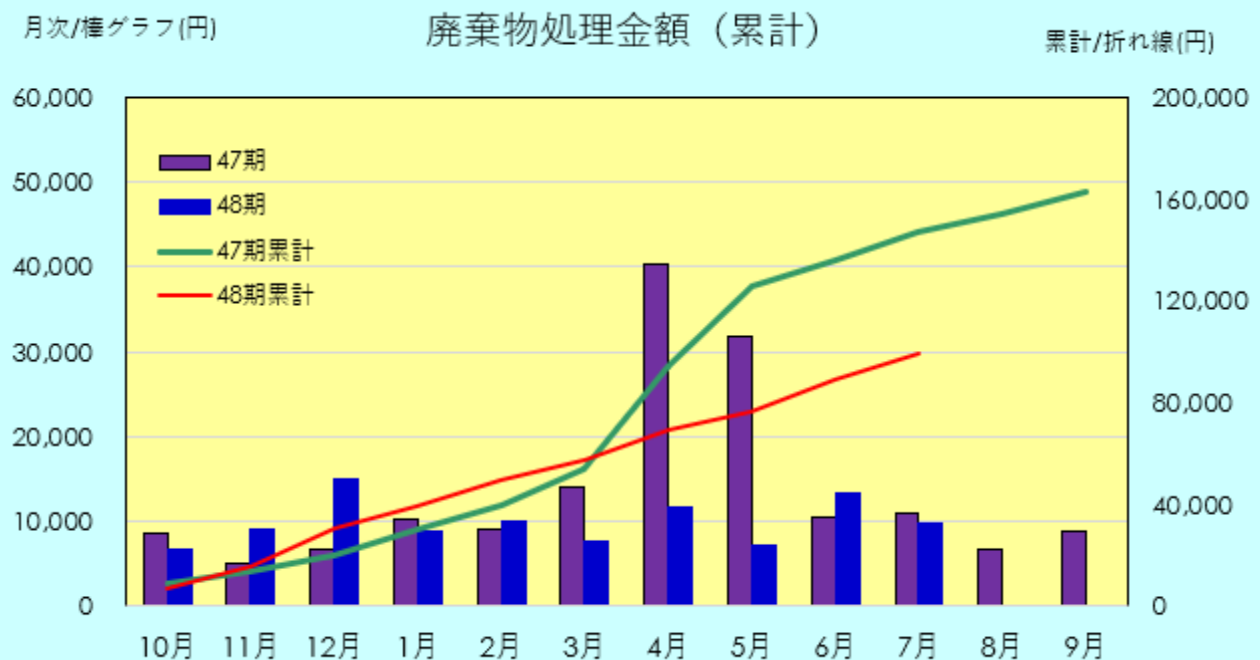
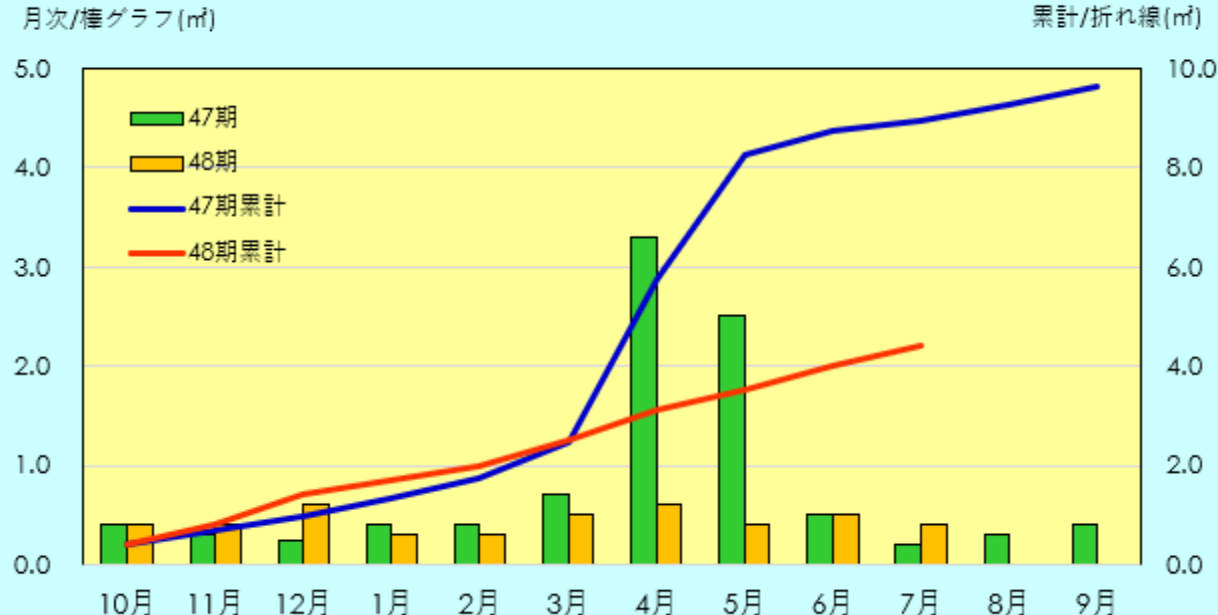
- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



一般廃棄物（SSD/本社）



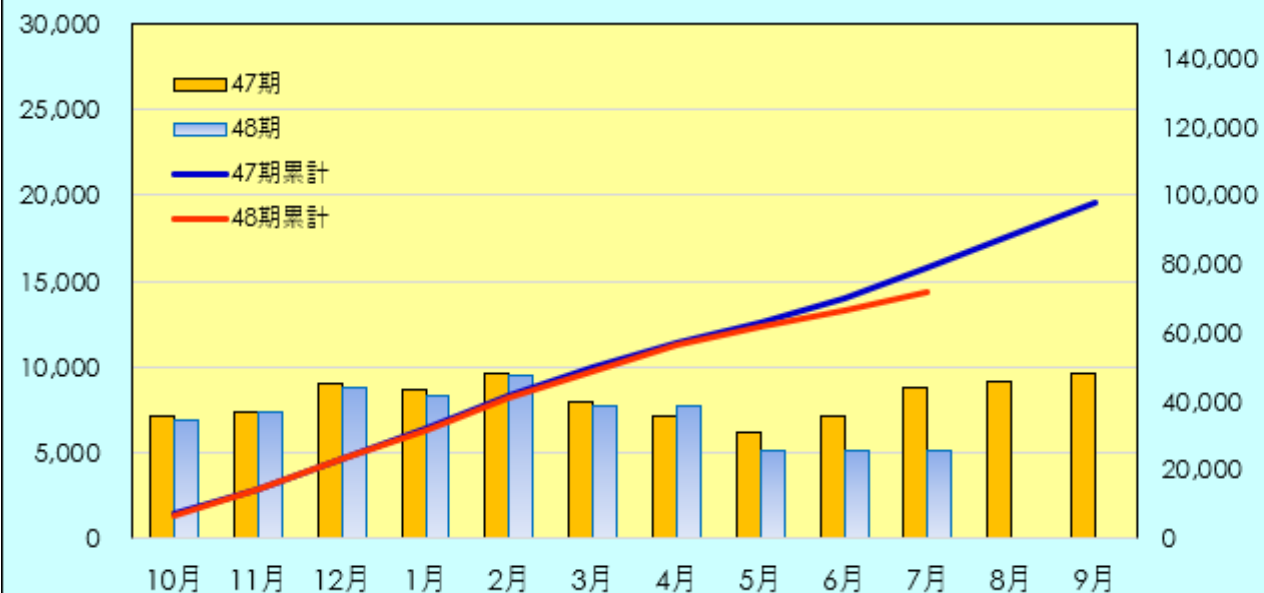
一般産業廃棄物（SSD/本社）



電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

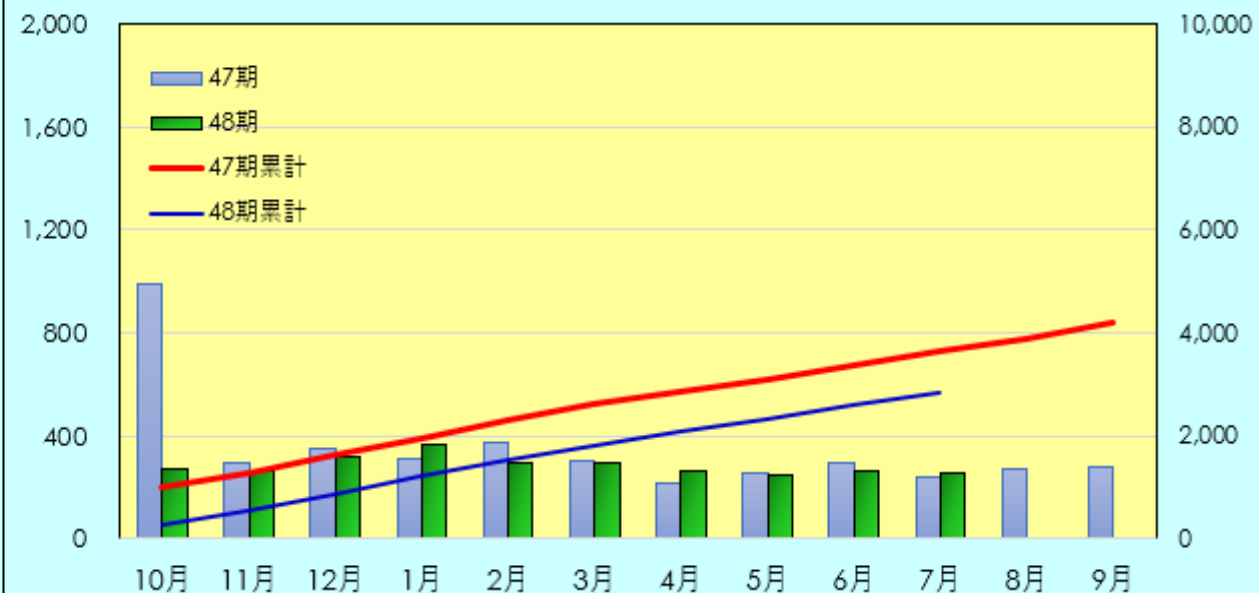
累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

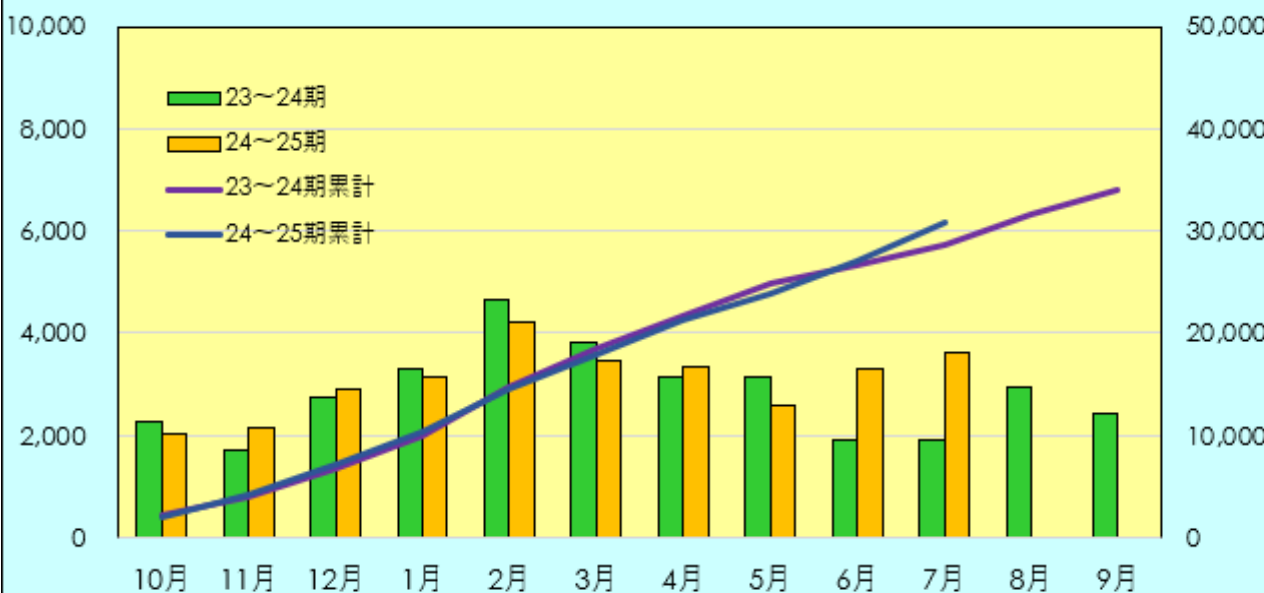
累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

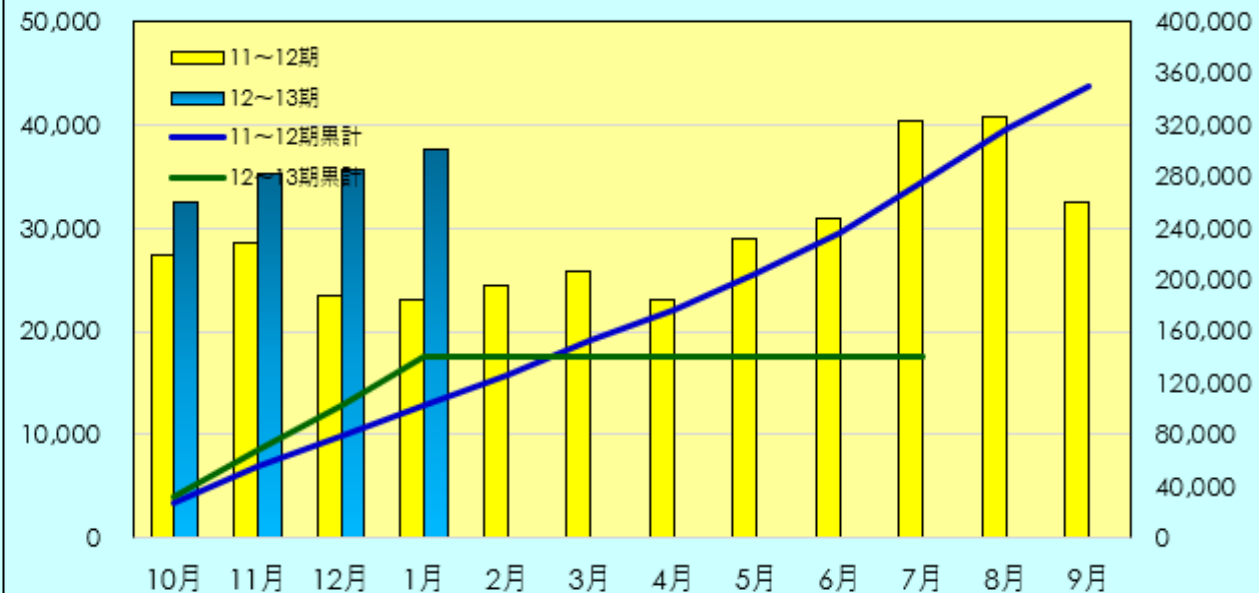
累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ(kwh)

累計/棒折れ線(kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

●一般社団法人ICTマネジメント研究会 第7回学生小論文アワード授賞式を執り行いました！

一般社団法人ICTマネジメント研究会が主催する学生小論文アワードの授賞式を8月6日にオンラインにて執り行いました。

このたびのアワードでは、厳正な審査の結果、最優秀賞1組・優秀賞2組・石井賞8組が決定しました。授賞式では、受賞者の皆様からのご挨拶や、審査員の先生方のご講評をいただきました。受賞された皆様、おめでとうございます。

サンシングループではICTマネジメント研究会を通じて、これからも社会貢献活動を積極的に展開してまいります。

受賞作品は、一般社団法人ICTマネジメント研究会『懸賞論文集』2025年度 第7号に掲載されております。

[購読希望はこちらから！](#)



地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（7月参加人数：延べ3名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設

